

## 入学式・新任式・始業式

4月21日、白石高校アリーナにおいて、平成23年度の入学式が挙行されました。例年であれば4月8日に行われますが、今年度は震災の影響で遅れての実施となりました。七ヶ宿校には、男子6名、女子1名の合計7名の生徒が入学を許可されました。

小野寺洋征校長は、式辞の中で、

志操凛風として 高き理想のもと進取創造を為す人物と成るべく 日々自彊不息を实践すべし

と、白高生の業を示しました。



新入生の感想です。誰でも、新しい環境は不安なものですが、期待もあります。新入生7名がそれぞれに自分の思いを文章にしてくれました。その内の二人の文章を載せます。

### 後藤 愛美さん

私は、七ヶ宿高校に来て良かったと、この短い期間で思っています。先生と先輩方がすごく優しく接してくれるし、分からない事は詳しく教えてくれます。何より嬉しかったのは、先輩と一緒に給食食べよって誘ってくれたことです。女子一人で不安だったので、すごく安心しました。

### 高野 悠希君

本校での入学式は、本校の人がいっぱい居てびっくりしました。七ヶ宿校は少し離れていて恥ずかしかったです。最初は、朝起きられるだろうか、学校になじめるのか心配だったけど、2・3日来てるうちに、すごく楽しい学校だと思いました。中学の頃の自分は忘れて、今を楽しく過ごしたいです。

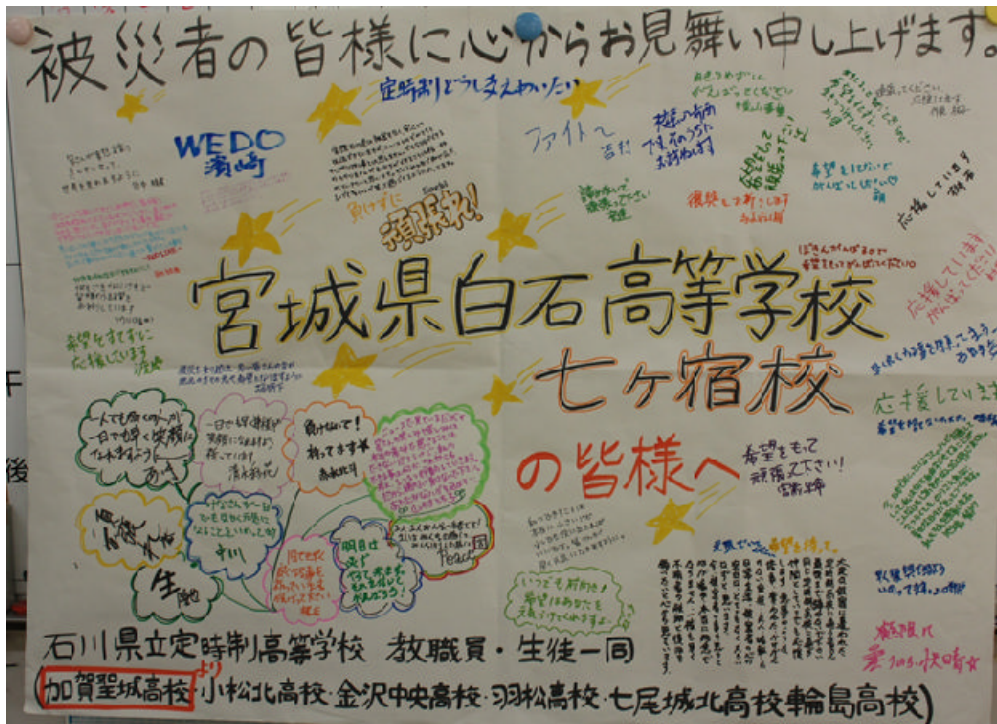
翌4月22日には、七ヶ宿校で新任式が行われました。今年度、赴任した先生方は次のとおりです。

校長 小野寺 洋征先生(県総務部より)  
副校長 竹内 透先生(東松島高校より)  
教諭 若生 啓太先生(新採用, 数学)  
講師 大槻 孝喜先生(数学)  
講師 佐藤 正博先生(情報)  
講師 遠藤 園子先生(国語)

引き続き、始業式が行われました。写真は、担任発表で歓声を上げる生徒の様子です。1年生から3年生までが一堂に会し、ほぼ一ヶ月ぶりに友達と顔を合わせ、生徒達は皆とても嬉しそうでした。



## 感動！寄せ書きと千羽鶴 石川県の定時制高校より届く



4月27日、石川県加賀市の高校から、生徒の寄せ書きと千羽鶴が送られてきました。生徒代表の手紙が添えられていましたので、その全文を掲載します。同じ定時制高校に通う仲間として、震災にどう向き合えばよいのか、何かできることはないか、真剣に考えていることがよく分かります。胸が熱くなり、未来への希望を強く感じさせられました。

### 宮城県白石高等学校七ヶ宿校の皆様へ

初めまして。私達は石川県加賀市にある、加賀聖城高校という、みなさんと同じ定時制高校に通っています。まず、この度の東日本太平洋沖大震災にて被災された多くの皆様にご心よりお見舞い申し上げます。3月11日にいきなり起きた大震災。そのニュースを知り、映像を見た時、すごくびっくりしました。

今同じ日本で起きている事…自分達は何不自由なく過ごしているのに、苦しんでいる人がたくさんいること、何もできない無力さ。とても悔しく、悲しくなりました。自分達に

できることは何か…。そこで、先生、そして生徒会が中心となり募金活動や、寄せ書きなど、今自分達にできることをやってきました。できることの一つとして、「千羽鶴を折ろう！」となり、全校生徒60人で鶴を折り始めました。残念ながら千羽を折ることはできませんでしたが、一羽一羽、想い願い、気持ちを込めて折りました。寄せ書きも、一人一人が一文字一文字、気持ちを込めて書きました。

まだまだつらいことや悲しいことばかりだと思います。けど、つらい今を乗り越えれば、また明るく楽しい生活が必ずすぐせます。想像もつかないほどの楽しいことが待っています。一人一人が力を合わせれば、大きな力になります。

被災されたみなさまの御健康と被災地の早期の復興を願いながら、私達に出来ること、募金活動などを続けていきます。

石川県立加賀聖城高等学校

生徒代表 池端 梨沙 より。